

Q12

コッホ現象というものが起きたら、どうすればよいのでしょうか。

A

コッホ現象が起きたら、まず結核に自然感染していないかどうかを疑ってください。問診、ツベルクリン反応検査、胸部X線検査等の結核に関する検査をします。この際、感染源となった家族など周りの大人も検査をすることが必要になります。(結核菌以外の「非結核性抗酸菌」と呼ばれる菌に感染した場合でもコッホ現象が起きますが、比較的反応は弱いとされています。)

接種部位の局所の反応は、通常の接種後の反応より早くかつ強く出ますが、特別な処置は必要なく、経過観察を行います。30日を過ぎると次第に消褪し、癬痕化して治癒すると報告されています。

また、コッホ現象を診察した医師は、市町村(特別区)に「コッホ現象事例報告書」を提出することになります。(参照 p21)